

# 300人で田植え 本田選手描く 小山の田んぼアート

小山市

下野新聞

2017年6月5日



田んぼアートの水田で田植えを体験する参加者

## 300人で田植え 本田選手描く

### 小山の田んぼアート

【小山】水田をキャンパスに見立てた「田んぼアート」の田植えが4日、下生井の渡良瀬遊水地会場で行われ、広大な水田にサッカーのイタリャー部リーグ（セリエA）、ACミランの本田圭佑選手を描こうと約300人が参加した。田んぼアートは7月中に見頃を迎える見通し。

市は2011年から、地方創生の一環として、色が異なる複数の古代米の苗で絵柄を描く田んぼアート事業を開始。地元土地改良区や市などをつくる実行委員会は収穫されたコメと古代米のもちを販売するなど6次産業化を進め、付加価値の高い生産品を目指している。今年には本田選手のほか、絹会場で鉄腕アトムとユニコ、美田会場で人気ロードレース漫画「弱虫ペダル」と宇都宮ブリッツェン、乙女会場で栃木ゴールデンブレースが題材に選ばれた。

昨年に続き、農業に関心を示したコンゴ共和国の臨時代理大使エレンゲ・オコンゴ・マーク氏が参加したほか、JRグループの大型観光企画「デスティネーションキャンペーン（DC）」を来年に控えたプレ

おやま田んぼアート2017渡良瀬遊水地会場  
本田選手が小山の田んぼアートに出現！？



渡良瀬遊水地会場の絵柄イメージ

DC企画の一環で、首都圏から訪れた40人が田植えを体験。東京都中央区から母と娘の3人で参加した事務員リー・イーフユイさん（34）は「初めての体験で何度も転びそうになったが、農家の大変さを実感できた」と話した。（平井星）